

(様式4)

校 種	小 ・ 中 どちらかに○	学校番号	1 3	学校名	宇都宮市立峰小学校
-----	-----------------	------	-----	-----	-----------

令和6年度 健康（体力・保健・食育・安全）に関する取組

1 健康（体力・保健・食育・安全）に関する主な実態

(1) 定期健康診断・元気っ子健康体力チェックから

身体測定の結果を全国の平均値と比較すると、身長は、2年生の男子、4年生の女子、5年生の女子、6年生の男子において、全国平均値を上回り、3年生の男子においては、全国平均値を下回った。また、肥満傾向児童の出現率は、男子が7.4%、女子が9.9%であり、女子は、全国・県と比べて高い出現率である。視力は、学年が上がるにつれて低下傾向にあり、裸眼視力1.0以上の児童の割合は、全国・県と比べると低い。歯科はむし歯が1本もない児童が67.3%、処置完了者が20.8%と、全国・県と比較しても高い。しかし、1人で何本もむし歯をもつ児童や受診勧告をしても受診しない児童も多く、定期的な働きかけが必要である。

元気っ子健康体力チェックの結果を全国の平均値と比較すると、男子はほぼ同等であり、女子はやや下回っている。種目別で見ると、男子は、握力、シャトルランの記録が低く、長座体前屈とソフトボール投げは全国平均を上回っている。女子は、握力、シャトルランの記録が低く、長座体前屈の記録は全国平均を上回っている。このことから、本校児童は、体の柔軟性はあるが、握力とシャトルランに課題があることが分かる。総合判定においては、AとB判定などの運動が得意な児童とDとE判定などの運動が苦手な児童との差が令和4年度より著しくなくなった。そのため、運動が苦手な児童が運動を楽しく行いながら、体力を向上できるような工夫を今後も継続していく。教科体育では、児童が楽しく意欲的に運動に取り組める授業づくりに努める。また、休み時間に外遊びを積極的に行えるように、使用できる用具を整えていくことや行事を活用していくことを推進していく。

(2) 元気っ子健康体力チェックのアンケート及び国・県・市の児童生徒質問紙・学校質問紙

などから（※体力・保健・食育・安全について、それぞれ記入する。）

体力面については、学校質問紙の結果から「各種検定カード等をもとに、めあてをもって運動に取り組んでいる」の肯定的割合が、教職員100%、保護者60%、児童88.1%となった。なわとび検定においては、委員会活動による下級生への支援を行った。また水泳やなわとびの学習においてもカードを活用し、意欲と技術の向上に努めた。しかし、保護者の肯定回答が80%を下回っているため、学年便りなどによる情報の発信を行い、周知を図る。また、検定カードや学習カードを児童が家庭に持ち帰り、学校での取り組み状況を保護者に把握してもらう必要がある。そのため、体育で使用する検定カードや学習カードには必ず保護者が確認したことが分かる欄を設け、単元の終わりには検定カードや学習カードを保護者に確認してもらうことに努めていき、児童の取組状況を保護者へ周知させていく。

保健については、「食後丁寧に歯みがきをしている」の肯定的回答が児童93.1%、保護者90.3%である。感染症対策をしながらの実施となっているが児童の肯定的回答は前年度を上回った。引き続き家庭と連携して歯科指導の充実を図る必要がある。

食の面については、「朝食を食べている」の肯定的回答は98.68%と昨年度よりも2.42%上回ったが、「好き嫌いをせずに食べている」の肯定的回答は87.2%となり、昨年度よりも7.69%下回った。苦手なものでも一口は食べるよう声を掛けたり振り返りカードを活用したりして、バランスよく食事をすることの大切さに気付けるようにしていく。

安全面については、交通安全教室や不審者・災害訓練に臨む態度から、安全に関する意識の向上が見受けられる。

(3) 授業や健康安全・体育的行事等への取組状況から

（※体力・保健・食育・安全について、それぞれ記入する。）

体力については、児童は体育の授業に意欲的に取り組んでいる。また、なわとび検定や長なわ大会の練習に意欲的に行う姿が見られた。運動の種類によっては、低学年から系統的な指導が必要な

ものがある。水泳運動やマット運動、跳び箱運動、鉄棒などの技の習得である。この指導を今後も充実させていき、中学年、高学年でもできる楽しさを味あわせていきたい。

休み時間の過ごし方では、低・中学年は休み時間ごとに鬼遊びやドッジボールなど、バラエティに富んだ遊びをしている。また、一輪車や竹馬、固定遊具を使った遊びも見られる。高学年は、ボール遊びや鬼遊びなど外遊びをする児童が見られるが、外で遊ぶ児童と遊ばない児童の二極化が見られる。今年度も元気っ子健康体力チェック、運動会小体連の各種大会、長なわ大会などの行事や運動委員による運動する機会、児童が楽しく意欲的に運動に取り組める体育の授業を通して、体を動かすことの快さと楽しさを感じさせながら体力の向上を図っていききたい。

保健については、養護教諭や学校歯科医、歯科衛生士による保健指導の他に外部講師を招いた指導も取り入れており、より専門的な指導の充実を図っている。

食に関しては、給食委員会による献立の放送や学校栄養士とのTTの授業など、専門的な指導を受けることによって、健康教育への意欲付けを強化している。

安全については、交通安全教室で登下校時の歩き方や自転車の乗り方などを振り返る機会を設けるとともに、普段の学校生活でも適時担任から指導している。また、不審者訓練や災害訓練を通して、自分の身を守る行動について意識を高めることができた。

2 今年度の重点目標

- (1) 元気っ子チャレンジや各種検定への積極的な参加、自発的なあいさつと返事の励行
- (2) 「元気っ子健康体力チェック」の活用等による進んで運動に親しむ態度の育成、自己の健康増進に向けた生活習慣の定着

3 今年度の取組（「第2次宇都宮市学校教育推進計画後期計画」に関する取組は文頭に★、「令和6年度指導の重点」に関する取組は文頭に□）

- (1) 食育の啓発及び生活習慣の育成
 - 学級活動において、食育指導を行ったり、学校栄養士と連携した授業を行ったりして、食事の重要性や栄養バランスなどについて指導する。
 - ★おにぎりの日やお弁当の日を活用して、食事について親子で共に考えたり、食への関心を高めたりする機会を設ける。
 - ・マナーを守って楽しい食事ができるように、給食の時間にマナーに関する放送をしたり掲示物を充実させたりして、食や栄養に対する意識を高める。
- (2) 健康・体力の向上
 - 各種検定カードや「うつのみや元気っ子チャレンジ」を活用する。
 - 元気っ子体力チェックを活用した運動習慣の定着。
 - ★□教科体育の初めの時間に補強運動を取り入れ敏捷性・持久力・投力の向上を促す。
 - ★□健康診断の結果から、迅速な事後指導や事後措置を行い、担任と連携しながら病院受診を促したり、健康の保持増進のための支援や指導を行ったりする。
 - ★□臨時の健康診断や年3回の身体測定の実施など、年間を通して、児童の健康状態の把握を行うとともに、児童自らも自分の健康に関心をもてるようにする。
 - ・様々な感染症や食中毒の予防など、適切な衛生管理や生活指導を行い、自己の健康管理ができる児童を育成する。
 - 日常の姿勢指導や「目の体操」を行い、視力低下の予防を図る。
- (3) 家庭・地域との連携協力
 - ★□保健だよりや食育だよりを通して、家庭と連携しながら児童の育成を図る。
 - ★□学校保健・給食委員会を開催し、家庭や学校関係者と連携・協力しながら、「健康・体力・食育・安全」の健康課題について取り組む。
 - ★・歯みがき指導（きらきらクラブ）の実施にあたり、保護者や地域ボランティアに協力を呼び掛ける。
 - ★・陽東地域学校園で、歯、目、姿勢の健康に関する取組を系統的・継続的に行う。